

報告第2号 令和元年度 事業計画について

基本方針

当協会は、地域連携DMOとして、地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立つ観光地域づくりの舵取り役として、「日本版DMO」の役割を果たしてまいります。

今年度の新たな取組みは、「釧路川リバーサイド観光拠点構想」の実現に向け、7月～10月、試験的に「観光コンシェルジュ」を釧路市観光国際交流センター内へ新設し、観光のワンストップ窓口として、観光客・長期滞在のお客様へ向けた観光コーディネート機能として位置付け、市内・管内の魅力的な観光情報を発信いたします。

また、まち歩き、カヌー、湿原散策等体験商品の販売・手配に加え、当協会の自主事業として、レンタサイクル事業を実施いたします。

街中サイクリングコースMAPを用い、街巡りを楽しんでいただく新たな観光コンテンツを整備いたします。

釧路市を拠点とし、管内各地を日帰り周遊する「花びら周遊ルート」事業は、様々な交通手段と観光資源を組み合わせた商品開発・販売を行ってまいります。

また、街中における体験型観光コンテンツの充実を図り、着地型旅行商品の造成・販売システム構築へ取組み、市街地の連泊を促し、地域の観光産業の底上げを目指します。

国内観光客の誘致へ向け、首都圏・関西・中部圏の旅行会社商談会へ参加し、釧路地域ならではの商品企画を提案いたします。

修学旅行誘致事業では、体験ガイドブックを作成し、北海道教育旅行説明会・商談会へ参加いたします。

海外観光客誘致は、FIT化へ応じる誘客強化として、中国・台湾をターゲットとするデジタルプロモーションを展開し、モバイルターゲティング広告、SNSユーザーへ訴求するインフルエンサーの活用により、動画・ホームページ等へ誘導し、情報発信の強化を図ってまいります。

広域連携事業として、ひがし北海道自然美への道DMO、釧路空港国際化推進協議会の事業と連動し、セールスプロモーション、旅行会社・メディア等の招請事業参加等へ取り組んでまいります。

「水のカムイ観光圏」事業では、釧路市・弟子屈町の広域連携による観光地域づくりを目指し、ブランドコンセプトを体感する「水のカムイと出会える旅へ」の滞在プログラムを開発・販売し、国内外から2泊3日以上滞在観光の推進を図ります。

インバウンド誘客強化事業として、体験・旅行予約システムの構築とデジタルプロモーション・マーケティング等を実施いたします。

また、当観光圏の魅力を活かした自然と文化を体感するアドベンチャーツーリズムに取り組んでまいります。

MICE事業は、北海道MICE誘致推進協議会はじめ関係団体と連携し、北海道MICE懇談会・商談会参加、国際MICEエキスポ出展、フォローアップセールスを実施する他、国際会議誘致へ向け、英語の電子パンフレットを制作し、誘致活動へ取り組んでまいります。

また、当地の特性を活かした、インセンティブツアー、研究会・学会の研究視察など、ターゲット展開を図り、効果的な誘致活動を推進し、併せてMICEカレンダーの作成、大会記名式歓迎ポスターの配布、歓迎のぼりの設置や会場における観光案内ブースの設置等により、受入体制を整備いたします。

東北海道最大規模のイベントへ成長した「釧路大漁どんぱく」は、関係団体と連携を図り、更なる内容の充実を目指してまいります。

現在、釧路市において、観光立国ショーケースの目標達成の最終段階へ差し掛かり、釧路観光コンベンション協会（地域連携DMO）が担うべき務めは、一層重要な位置づけにあるものと認められます。

つきましては、引き続き会員各位のご支援、ご協力をいただきながら、更なる観光振興の推進へ尽力してまいります。

以上の方針を踏まえ、各事業へ取り組んでまいります。

各事業項目

1. 釧路川リバーサイド観光拠点構想事業

- (1) 観光コンシェルジュの開設（7月）
 - 1) 観光ワンストップ窓口として周辺市町村の観光情報発信
 - 2) 着地型旅行商品等の手配・販売
 - 3) 観光コーディネート機能
- (2) 花びら周遊ルート形成事業（釧路管内連携：釧路発日帰り周遊コンテンツの創出）
 - 1) 旅行会社と連携した旅行商品及びコンテンツの開発・販売
 - 2) モニターツアー（模擬ツアー）の実施
- (3) レンタサイクル事業
 - 1) 電動自転車3台・マウンテンバイク2台・ミニベロ2台の貸出し
- (4) 地域資源の磨き上げによる新たな旅行商品の開発及び付加価値化
- (5) 釧路市・地元民間企業と連携した新たな観光コンテンツ(新サービス)の開発・検討
- (6) 地域ネットワーク形成に係る観光事業者・関連団体等との連携調整

2. 観光客誘致推進事業

- (1) 国内観光客誘致推進事業
 - 1) 着地型旅行商品造成販売事業
 - ・着地型旅行商品、体験プログラムの造成。
 - ・観光圏及び協会両WEBを用いた着地型旅行商品販売
 - 2) 旅行会社プロモーション
 - ・道内外旅行会社へ対する観光素材プロモーション及び商談会参加
 - 3) 教育旅行誘致事業
 - ・プロモーション及び商談会参加
 - ・体験ガイドブック作成
 - 4) 中部・関西地区観光イベント及びプロモーション
 - ・JAL中部線及びANA伊丹線の季節運航に伴う誘客活動
 - ・両航路の運航継続及び期間延長要請
 - 5) ひがし北海道自然美への道DMO「女子旅プロジェクト」への参加
 - ・LCCピーチ・アビエーション就航に伴う誘客活動
 - 6) 冬季観光キャンペーン事業
 - ・しつげん55PASSで巡る「冬のたんちょう号」定期観光バス企画協力
 - 7) 高速道路・道東道開通PR事業への参加
 - ・ウェルカム道東道！！オールくしろ魅力発信協議会との連携
 - 8) サイクルツーリズム事業への参加
 - ・くしろサイクルツーリズム推進協議会との連携

(2) 海外観光客誘致推進事業

- 1) 台湾旅行会社セールス
- 2) 中国・台湾デジタルプロモーション
 - ・モバイルターゲティング広告V P O Nと現地旅行商品の連動による誘客
- 3) 中国デジタルプロモーション
 - ・SNS 微博（ウェイボー）及びWE I Qを活用した動画等情報発信
- 4) ひがし北海道自然美への道DMOとの連携
- 5) 釧路空港国際化推進協議会等関係団体との連携
- 6) プロモーション・招聘事業参加協力
- 7) 海外F I T向けWE Bサイト「悠悠北海道」釧路地区ページ制作及び情報発信

3. 観光圏事業「水のカムイ観光圏」～釧路湿原・阿寒・摩周～

- (1) 水のカムイ体感！滞在プログラムの開発
 - ・欧米豪デジタルプロモーション（JNT0、japan-guide、Google、SNS 広告）
 - ・台湾メディア招請
- (2) 連泊滞在化促進並びに二次交通整備
 - ・阿寒摩周号運行
- (3) 来訪者調査
 - ・満足度調査
 - ・外国人動向調査
- (4) ポータルサイト改修
 - ・ポータルサイト予約システム改修
- (5) アドベンチャートラベル・ワールド・サミット（A T W S）出展
- (6) 観光圏間連携の推進
 - ・全国観光圏協議会参加
 - ・ツーリズムE X P O ジャパン全国観光圏協議会ブース参加

4. M I C E 誘致推進事業

- (1) 日本コンGRESS・コンベンションビューロー（J C C B）との連携
- (2) 日本コンベンション協会（J C M A）との連携
- (3) 北海道M I C E 誘致推進協議会との連携
- (4) 国際M I C E エキスポ出展・誘致活動
- (5) M I C E セールス活動
- (6) M I C E 大会助成制度の運用
- (7) M I C E カレンダー・パンフレット作成
- (8) 臨時観光案内ブースの設置
- (9) 主要大会記名式歓迎ポスター作成・歓迎のぼりの設置
- (10) アフターM I C E メニューの整備
- (11) 他コンベンションビューローとの連携強化

5. 観光宣伝事業

- (1) マスコミ等による観光宣伝・取材協力
- (2) 北海道の物産と観光展への参加
- (3) 観光交流都市との友好交流の推進
- (4) ホームページ更新
- (5) フェイスブックによる情報発信
- (6) 観光パンフレット作成・配布
 - ・くしろガイドマップ
 - ・釧路湿原てくてくMAP
 - ・外国語表記ガイドマップ（英・繁体字・簡体字・ハングル）
- (7) くしろ圏観光キャンペーン推進協議会事業（ぐる得パスポート作成協力）

6. 観光団体等連携推進事業

- (1) 観光振興推進事業
 - 1) 観光事業機関及び団体との連携
 - ・日本観光振興協会、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、ひがし北海道自然美への道DMO等との連携強化。
 - 2) 観光情報の収集及び提供
 - ・日本観光振興協会観光情報発信事業への参加
 - ・北海道観光振興機構観光情報発信事業への参加
 - ・観光情報の収集及び発信
 - 3) 観光イベント事業の推進
 - ・釧路大漁どんぱく（9月13日～9月15日）
 - ・いい味イキイキくしろ（9月14日）
 - ・各種イベントの共催及び協賛
くしろチューリップ&花フェア・くしろ霧フェスティバル・くしろ港まつり・
釧路新花火大会・くしろ市民北海盆踊り・くしろ冬まつり
- (2) 受入体制整備推進事業
 - 1) ホスピタリティ向上運動
 - ・「ようこそ釧路へ」歓迎ポスター作成、配布。
 - 2) 接遇対応セミナー
 - 3) 観光案内所の運営
（釧路市観光国際交流センター内・JR釧路駅構内）
 - 4) 観光施設等の美化事業参加

7. 財政基盤・受託管理事業

- (1) 協会組織の強化
 - 1) 新規会員の加入促進
 - 2) 機関紙の発行（年1回）
 - 3) 会員向けメールマガジンの発行（年6回）

(2) 財政基盤の確立

1) 自主財源の確保

- ・ 釧路市湿原展望台レストハウス「憩っと」及びミュージアムショップの運営
- ・ 物品販売事業
- ・ 観光望遠鏡・自動販売機等施設活用
- ・ 旅行商品の販売
- ・ レンタサイクルの運営

(3) 釧路市指定管理施設の受託管理

1) 釧路市観光国際交流センター及び幸町緑地

2) 釧路市湿原展望台